

## 核兵器廃絶へ急展開

### オバマ米大統領プラハ演説

4月5日、オバマ米大統領は欧州歴訪中のチエコのプラハで、核兵器の廃絶を目指す包括的な戦略を演説、発表しました。

この演説の中で、世界平和にむけてのいくつかの積極的な提案をしています。そのうちの3つをかかげます。

- (1) 「米国は核兵器のない、平和で安全な世界を追求していくことを明確に宣言する」とのべ、核兵器の最大の保有国アメリカが、「核兵器のない世界」 核兵器廃絶をはじめて明示しています。
- (2) 「核兵器を使用したことのある唯一の核兵器 器保有国として、米国は行動する同義的責任がある」とのべ、広島・長崎での核



広島原爆ドーム(広島市平和公園)

兵器の使用が人類道義にかわる問題であったことを、アメリカの大統領として初めて世界に表明するとともに、その立場から核兵器廃絶に向けた責任について語っています。

- (3) 「協力の呼びかけを非難したり、一笑に付するのは簡単だが、臆病な行為である。それは戦争のきつかけともなる。そこで人間の進歩はとまってしまう」とのべ、「核兵器のない世界に向けて声を高めなければならぬ」と、**世界の諸国民に呼びかけています。**

### 私たちが核廃絶の行動を!

書簡を呼んで非常にすつきりしました。軍需産業が大きな力を持っている米国で、オバマ大統領をとりまく情勢にはきびしいものがあると思われまます。しかし、わたしたちは、核兵器廃絶が日本国民の声、世界の世論だとオバマ大統領に示す必要があります。

それだけに、私たちの運動の大切さ、使命をあらためて感じています。核兵器廃絶を実現することは、オバマ大統領の努力であると同時にわたしたちの努力でもあります。

長崎原爆被災者協議会事務局長

山田 拓民さん

映画の力で、平和憲法を生かそう!

「いのちの山河」

日本の青空II

《主催》映画「日本の青空II」

上映する会

富士市での上映予定

★映画の完成予定は6月です。富士市での上映は9月下旬を予定しています。それまでに**憲法25条や生存権**などの学習を各地域や職場で行っていきましよう。

NHKアーカイブス・プライム10

生命をかけた対論

～沢内病院の苦悩

6月27日(土) 無料

(1) 14:00～ 約2時間

於 富士市民プラザ

(2) 18:30～

於 ラ・ホール富士

# 映画「いのちの山河」

## 日本の青空II

「人命の格差は絶対に許せない」。岩手県沢内村の村長であった深澤晟雄氏の言葉です。この理念を単なる理念に終わらせず、村民総ぐるみで半ば諦めていた、豪雪・多病・貧困、という三悪に立ち向かい、見事に克服したまさに「自分たちで命を守った村」の姿を描いたのが、この劇映画「いのちの山河〜日本の青空II」です。いま、国保料が払えずに保険証を取り上げられ、医療を受けられなくなる方がある現実を見る

にその「熱意」をもっていただくことを願って、協会ではこの映画製作の協力・支援に努めていくことを決めました。つきましてはみなさまにも、本映画の製作について物心共に協力をお願いする次第です。何卒よろしくお願いいたします。

京都府保険医協会理事長 関浩

### あらすじ

豪雪・多病・貧困、とてつもなく大きな問題を抱えていた、山間の小さな村・沢内村。長く無医村であったこの地で、父親から医者になることを期待されながらも村を離れていた深澤晟雄はある日、妻と帰郷する。

昔と変わらず悲惨な村の状況を前に晟雄は、何とか村をよくしたいと立ち上がった。

自分達を苦しめている問題を打破しようと村民に語りかけ、自らの信念である『生命尊重』行政の在り方を説き、いよいよ村民の医療無料化に踏み切ろうと決意するが、国民健康保険法違反という壁に突き当たってしまう。晟雄は、村民のいのちのため、全国に先駆けて何として

でも実現させようと「少なくとも憲法違反にはならない。国がやらないから、村がやるんです！」と憲法25条を盾に、老人・乳児医療無料化を推し進めていく。

やがて、全国でも最悪の乳児死亡率だった村が、全国初の乳児死亡「ゼロ」という記録を生みだすまでになる。

しかし、そこに辿りつくまでには、晟雄と村民たちの奮闘の日々と、数々のドラマがあった。

## 日本国憲法25条

- 1 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- 2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

★ 富士市内の上映は9月下旬を予定しています。

# 9条世界会議後即出発

三島在住の良知勝平さんが四月二十日、十五日、ラ・ホール富士での「9条世界会議DVD鑑賞会」の中で、昨年参加したピースボート「第2回地球一州の旅」での体験談を披露。念願の世界一周を果たし、現地での交流を通して世界平和や憲法九条の精神にも触れ、多くの感動を得たことを語りました。

良知さんは同年五月に開催された9条世界会議に富士から参加、その一週間後の十四日に、横浜港から四カ月間のピースボートに出発。シンガポール、エジプト、スペイン、アイスランド、アメリカ合衆国、メキシコなど二十数カ国を訪れ、九月四日に帰国しました。「ピースボート」とは「みんなが主役で船を出す」を合言葉に「草の根の国際交流」をめざし、世界各地を訪れる船旅。一九八三年にNGOの主催でスタート、これまで一八〇カ国以上を巡り、三万人余が参加しています。

## 船内外で平和について交流

良知さんは、長年教職にあり、沼津商業高校を定年退職した後、かねてよりの希望だったこ

のクルーズに参加しました。ピースボートには、各界の著名人らが「水先案内人」として同行、講演などを行うほか、参加者らと日常生活を共にします。なかでも、良知さんは「朗読劇を指導してくれた演出家の由布木一平さんに『同じ船 同じ船原』という歌を教えられた」と語り、

### 地球というひとつの星

### ひとつの船に乗り合わせた

### 共に生きるために

という歌詞の曲を朗々と披露。登山家の田部井淳子さんとの交流や、自主サークルでの合唱のリーダーや囲碁大会など充実した船内生活を紹介されました。

このほか訪問地では、特にカンボジアのアンコールワットやペルーのマチュピチュに深く感動、アラスカの氷河を陸と空と海から体験し、温暖化の脅威を感じたことも語りました。

## 憲法九条の碑

### カナリー諸島に

平和についての学びでは、広島の被爆者の姉妹から体験を聞き、戦争の悲惨さを全員が涙し

たこと、女子学生の一人が、ニューヨークで憲法九条を英語で熱心に朗読していた姿も紹介。強く印象に残ったこととして、カナリア諸島・テルデ市のヒロシマ・ナガサキ広場に、スペイン語で書かれた日本国憲法第九条の碑が建てられていることを挙げました。良知さんは最後に「ぜひみなさんも世界一周で感動体験を」と呼びかけました。

(文責 山崎ひろみ)

## 世界に広がる憲法9条！

昨年の5月、幕張メッセを中心に3万人を超える人々が集まりました。このときの模様をまとめた本やDVDが出版されています。希望者は事務局へお申し出下さい。

### ★9条世界会議の記録

日本実行委員会(編集) ¥1,890

### ★ダイジェストDVD ¥1,300

- ①ダイジェスト映像
- ②シンポジウム1-6
- ③特別フォーラム



## ウクライナの歌姫

## ナターシャ・グジーの澄んだ歌声をぜひ

昨年の五月千葉幕張での9条世界会議は、講演やシンポジウムに加え歌や踊りなど多彩なイベントで大きな盛り上がりを見せた。その初日の第一部と第二部では加藤登紀子やウーア、原田真二、普天間かおりなど多くの歌手・パフォーマーが登場したが（バス参加者は残念ながらみられなかった）、ひととき印象的であったのはウクライナの女性歌手ナターシャ・グジーの歌声であった。

第二部のパフォーマーのひとりとして登場した彼女は、民族楽器バンドウーラを手にウクライナ民謡「キエフの鳥の歌」など二曲をうたいあげた。その透明な美しい歌声はバンドウーラの可憐な響きとともに、一万二千人が集まった幕張の巨大なイベントホールにしるるよう広がった。感動的であった。それで私は二日目に企画された彼女のミ

**ナターシャ・グジー  
いのちの輝きコンサート  
5月29日(土) 19時開演  
ロゼシアター小ホール**

ニコンサートにも参加することにした。（狭い会場はすし詰め状態だったが）。ナターシャは六歳の時（一九八六年四月）あのチェリノブイリ原発事故にあっている。原発からわずか三・五キロの場所で被爆した（彼女の父親は原発労働者だった）。そのため一家は故郷を失い各地を転々とする運命となった。のちチェリノブイリ子ども基金の招きで音楽団のメンバーとして来日したナターシャは、日本語学校で学びながら音楽活動を始めることになるが、彼女の哀愁をおびた透き通った歌声には、彼女と家族、ウクライナの苦難の歩みが秘められているのであろう。

ナターシャ・グジーはこの五月二十九日富士ロゼシアターで「いのちの輝きコンサート」を行う。ぜひ多くの方々に、ナターシャの透明な水晶のような歌声を素敵な容姿とともに実際に聴き見てほしいと思う。

加藤 善夫

## 核兵器廃絶平和富士市民の会

### 常設の平和資料館の要請

富士市内に残る戦争資料など常設展示できる「平和資料館」の設置を要望している「核兵器廃絶平和富士市民の会（小長谷保代表）は、5月十日、施設内容や運営方法などの提案を盛った要望書を鈴木尚市長に提案した。鈴木市長は

「やらなければならぬ事業」と前向きな姿勢を示した。要望する展示内容は、市民が寄せた戦争の実物資料や市が行った核兵器廃絶平和都市宣言の宣言文、同会が行う平和バスツアーの参加者の感想文など。戦争体験者の語り部ビデオ上映なども求めている。場所は多くの市民が訪れやすい市中心部の市立中央図書館や博物館、交流プラザ内への開設を候補に挙げ、平和・平和教育普及活動の事務局機能も担ってもらえるよう非常勤職員の配置も要望した。

### 戦争展の準備にご協力を

富士・九条の会では今年憲法9条と25条とに視点を置いた展示を予定しています。

## 世話人会のお知らせ

- とき 7月15日(水)
- (1) 14時00分～16時00分  
コープしずおか中島店
- (2) 18時30分～20時30分  
ラ・ホール富士
- 内容 「日本の青空II」・総会・戦争展など

ニュース27号の原稿を  
6月30日までにお寄せ下さい。